

『サクッとわかる ビジネス教養 地政学』正誤表

2022年4月8日現在

下記の誤りや誤解しやすい記述がございました。ご迷惑をおかけしたことをお詫び申し上げます。


●2021年7月5日～2022年4月25日 奥付


訂正箇所	誤	正
38ページ 「完璧な理由1 位置」	拠点として超重要！ 世界の主要都市を射程に ICBNという大陸弾道ミサイルを配置すれば、世界中の主要な都市を射程におさめることができる。	拠点として超重要！ 世界ににらみを利かせられる 沖縄は、米国と日本のシーパワーと、ランドパワーの中国の接点にあり、同時にユーラシア大陸の東端からにらみを利かせられる。
40ページ 本文 4行目	アメリカのICBM(大陸間弾道ミサイル)を沖縄に配備すると、世界の多くの主要都市が射程に入り、ミサイルを置くには絶好の位置なのです。ミサイル配備に適した場所として、世界のほぼすべての大都市が射程に入るロンドンに次ぐ世界2位ともいわれています。	沖縄は覇権争いを行っている中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション。同時に、ユーラシア大陸の東端に近い場所にあります。つまり、世界ににらみを利かせやすい位置なのです。インド洋のディエゴ・ガルシア米軍基地などと連携することで、さらにその効果は発揮されます。
40ページ 下部にある「1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！」の記述	1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！ 下の図は、沖縄を中心に「正距方位図法」で描かれた世界地図。中心と任意の点の「方位」と「距離」を正確に示すという特徴があります。これを見ると、アジア全域から中東、オーストラリアの全域、モスクワ、ローマ、ロンドンまでが沖縄から1万kmの範囲に入ります。米軍は、ICBM(大陸間弾道ミサイル)という1万kmを超える射程を持つ兵器を所有しているため、これを沖縄に配備すれば、世界中の主要都市を射程に入れることができ、大きな影響力を持つことができます。	沖縄は中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション 世界の衝突が起こりやすい3大エリアは「アジア」「中東」「ヨーロッパ」。沖縄は、そのなかのアジアエリアに、にらみを利かせやすいベストな場所に位置しています。とくに、覇権争いを行っている中国が海洋進出することをおさえる効果が大きく、中国から見れば、沖縄の米軍基地は大変邪魔な存在です。沖縄基地をはじめとする基地のネットワークを連携させることで、米国は世界の海と空からユーラシアの安定を維持しようとしています。

●2020年9月15日～2021年6月5日 奥付


訂正箇所	誤	正
38ページ 「完璧な理由1 位置」	拠点として超重要！ 世界の主要都市を射程に ICBNという大陸弾道ミサイルを配置すれば、世界中の主要な都市を射程におさめることができる。	拠点として超重要！ 世界ににらみを利かせられる 沖縄は、米国と日本のシーパワーと、ランドパワーの中国の接点にあり、同時にユーラシア大陸の東端からにらみを利かせられる。
40ページ 本文 4行目	アメリカのICBM(大陸間弾道ミサイル)を沖縄に配備すると、世界の多くの主要都市が射程に入り、ミサイルを置くには絶好の位置なのです。ミサイル配備に適した場所として、世界のほぼすべての大都市が射程に入るロンドンに次ぐ世界2位ともいわれています。	沖縄は覇権争いを行っている中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション。同時に、ユーラシア大陸の東端に近い場所にあります。つまり、世界ににらみを利かせやすい位置なのです。インド洋のディエゴ・ガルシア米軍基地などと連携することで、さらにその効果は発揮されます。
40ページ 下部にある「1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！」の記述	1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！ 下の図は、沖縄を中心に「正距方位図法」で描かれた世界地図。中心と任意の点の「方位」と「距離」を正確に示すという特徴があります。これを見ると、アジア全域から中東、オーストラリアの全域、モスクワ、ローマ、ロンドンまでが沖縄から1万kmの範囲に入ります。米軍は、ICBM(大陸間弾道ミサイル)という1万kmを超える射程を持つ兵器を所有しているため、これを沖縄に配備すれば、世界中の主要都市を射程に入れることができ、大きな影響力を持つことができます。	沖縄は中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション 世界の衝突が起こりやすい3大エリアは「アジア」「中東」「ヨーロッパ」。沖縄は、そのなかのアジアエリアに、にらみを利かせやすいベストな場所に位置しています。とくに、覇権争いを行っている中国が海洋進出することをおさえる効果が大きく、中国から見れば、沖縄の米軍基地は大変邪魔な存在です。沖縄基地をはじめとする基地のネットワークを連携させることで、米国は世界の海と空からユーラシアの安定を維持しようとしています。
68ページ 「中東との関係1」見出し部分	自国で石油生産ができるようなり、	自国で石油生産ができるようになり、

訂正箇所	誤	正
21ページ 地図「世界の主要なチョーク・ポイント」	バブ・エル・マンデラ海峡	バブ・エル・マンデブ海峡
38ページ 「完璧な理由1 位置」	拠点として超重要！ 世界の主要都市を射程に ICBNという大陸弾道ミサイルを配置すれば、世界中の主要な都市を射程におさめることができる。	拠点として超重要！ 世界ににらみを利かせられる 沖縄は、米国と日本のシーパワーと、ランドパワーの中国の接点にあり、同時にユーラシア大陸の東端からにらみを利かせられる。
40ページ 本文 4行目	アメリカのICBM(大陸間弾道ミサイル)を沖縄に配備すると、世界の多くの主要都市が射程に入り、ミサイルを置くには絶好の位置なのです。ミサイル配備に適した場所として、世界のほぼすべての大都市が射程に入るロンドンに次ぐ世界2位ともいわれています。	沖縄は覇権争いを行っている中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション。同時に、ユーラシア大陸の東端に近い場所にありません。つまり、世界ににらみを利かせやすい位置なのです。インド洋のディエゴ・ガルシア米軍基地などと連携することで、さらにその効果は発揮されます。
40ページ 下部にある「1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！」の記述	1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！ 下の図は、沖縄を中心に「正距方位図法」で描かれた世界地図。中心と任意の点の「方位」と「距離」を正確に示すという特徴があります。これを見ると、アジア全域から中東、オーストラリアの全域、モスクワ、ローマ、ロンドンまでが沖縄から1万kmの範囲に入ります。米軍は、ICBM(大陸間弾道ミサイル)という1万kmを超える射程を持つ兵器を所有しているため、これを沖縄に配備すれば、世界中の主要都市を射程に入れることができ、大きな影響力を持つことができるのです。	沖縄は中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション 世界の衝突が起こりやすい3大エリアは「アジア」「中東」「ヨーロッパ」。沖縄は、そのなかのアジアエリアに、にらみを利かせやすいベストな場所に位置しています。とくに、覇権争いを行っている中国が海洋進出することをおさえる効果が大きく、中国から見れば、沖縄の米軍基地は大変邪魔な存在です。沖縄基地をはじめとする基地のネットワークを連携させることで、米国は世界の海と空からユーラシアの安定を維持しようとしています。
68ページ 「中東との関係1」見出し部分	自国で石油生産ができるようなり、	自国で石油生産ができるようになり、
98ページ 右から1行め	世界第3位の広大な国土を有するランドパワー国家の中国は、	世界第4位の広大な国土を有するランドパワー国家の中国は、

訂正箇所	誤	正
12ページ 「中国やロシアなど、内陸の大国は領土を奪われないために拡大する宿命が」 参照ページ	(→P76)	(→P78、96)
21ページ 地図「世界の主要なチョーク・ポイント」	バブ・エル・マンデラ海峡	バブ・エル・マンデブ海峡
27ページ 「アメリカ軍の代表的な海外拠点」	ジブチ共和国	ジブチ共和国
38ページ 「完璧な理由1 位置」	拠点として超重要！ 世界の主要都市を射程に ICBNという大陸弾道ミサイルを配置すれば、世界中の主要な都市を射程におさめることができる。	拠点として超重要！ 世界ににらみを利かせられる 沖縄は、米国と日本のシーパワーと、ランドパワーの中国の接点にあり、同時にユーラシア大陸の東端からにらみを利かせられる。
40ページ 本文 4行目	アメリカのICBM(大陸間弾道ミサイル)を沖縄に配備すると、世界の多くの主要都市が射程に入り、ミサイルを置くには絶好の位置なのです。ミサイル配備に適した場所として、世界のほぼすべての大都市が射程に入るロンドンに次ぐ世界2位ともいわれています。	沖縄は覇権争いをしている中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション。同時に、ユーラシア大陸の東端に近い場所にあります。つまり、世界ににらみを利かせやすい位置なのです。インド洋のディエゴ・ガルシア米軍基地などと連携することで、さらにその効果は発揮されます。
40ページ 下部にある「1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！」の記述	1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！ 下の図は、沖縄を中心に「正距方位図法」で描かれた世界地図。中心と任意の点の「方位」と「距離」を正確に示すという特徴があります。これを見ると、アジア全域から中東、オーストラリアの全域、モスクワ、ローマ、ロンドンまでが沖縄から1万kmの範囲に入ります。米軍は、ICBM(大陸間弾道ミサイル)という1万kmを超える射程を持つ兵器を所有しているので、これを沖縄に配備すれば、世界中の主要都市を射程に入れることができ、大きな影響力を持つことができるのです。	沖縄は中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション 世界の衝突が起こりやすい3大エリアは「アジア」「中東」「ヨーロッパ」。沖縄は、そのなかのアジアエリアに、にらみを利かせやすいベストな場所に位置しています。とくに、覇権争いをしている中国が海洋進出することをおさえる効果が大きく、中国から見れば、沖縄の米軍基地は大変邪魔な存在です。沖縄基地をはじめとする基地のネットワークを連携させることで、米国は世界の海と空からユーラシアの安定を維持しようとしています。
68ページ 「中東との関係1」見出し部分	自国で石油生産ができるようになり、	自国で石油生産ができるようになり、
85ページ 「ウクライナ内戦とクリミア併合の大まかな経緯とは」	ウクライナ国内では、長く親ロシア派と、 新 ヨーロッパ派が対立。	ウクライナ国内では、長く親ロシア派と、 親 ヨーロッパ派が対立。
89ページ 右から8行め	「通航をコントロールして影響力を持つこと」	「通航をコントロールして影響力を持つこと」
98ページ 右から1行め	世界第 3 位の広大な国土を有するランドパワー国家の中国は、	世界第 4 位の広大な国土を有するランドパワー国家の中国は、
101ページ 地図(アフリカ)	ジブチ	ジブチ
101ページ 「紅海、アデン湾に面する「ジブチ」に基地を建設」	2017年、初の海外基地を東アフリカのジブチに設置。	2017年、初の海外基地を東アフリカのジブチに設置。
102ページ 「長らく行ってきた国境固めがようやく終結」 2004年	ロシアとの国境がすべて 画定	ロシアとの国境がすべて 確定
113ページ 「収束から5~10年後」	拡大した中国の勢力に ランド パワー勢力が戻り、中国は失速	拡大した中国の勢力に シー パワー勢力が戻り、中国は失速
117ページ 地図	ロシアの国旗の間違い	
154ページ 左から3行め	中国が目指しているのは、習近平の言葉によると「中華帝国の偉大なる復興」。	中国が目指しているのは、習近平の言葉によると「中華帝国の偉大なる復興」。

訂正箇所	誤	正
5ページ 上段左から4行め	今の段階では北 挑戦 のミサイルを恐れる必要はない？	今の段階では北 朝鮮 のミサイルを恐れる必要はない？
12ページ 「中国やロシアなど、内陸の大国は領土を奪われ ないために拡大する宿命が」 参照ページ	(→P76)	(→P78、96)
21ページ 地図「世界の主要なチョーク・ポイント」	バブ・エル・マンデ ラ 海峡	バブ・エル・マンデ ブ 海峡
27ページ 「アメリカ軍の代表的な海外拠点」	ジ ブ チ共和国	ジ ブ チ共和国
38ページ 「完璧な理由1 位置」	拠点として超重要！ 世界の主要都市を射程に ICBNという大陸弾道ミサイルを配置すれば、 世界中の主要な都市を射程におさめること ができる。	拠点として超重要！ 世界ににらみを利かせられる 沖縄は、米国と日本のシーパワーと、ランド パワーの中国の接点にあり、同時にユーラシ ア大陸の東端からにらみを利かせられる。
40ページ 本文 4行目	アメリカのICBM(大陸間弾道ミサイル)を沖 縄に配備すると、世界の多くの主要都市が 射程に入り、ミサイルを置くには絶好の位置 なのです。ミサイル配備に適した場所とし て、世界のほぼすべての大都市が射程に入 るロンドンに次ぐ世界2位ともいわれていま す。	沖縄は覇権争いをしている中国の海洋進出 をおさえるためのベストポジション。同時に、 ユーラシア大陸の東端に近い場所にありま す。つまり、世界ににらみを利かせやすい位 置なのです。インド洋のディエゴ・ガルシア 米軍基地などと連携することで、さらにその 効果は発揮されます。
40ページ 下部にある「1万km 内にロンドン、モスクワ、 北京など世界の主要都市が！」の記述	1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世 界の主要都市が！ 下の図は、沖縄を中心に「正距方位図法」で 描かれた世界地図。中心と任意の点の「方 位」と「距離」を正確に示すという特徴あり ます。これを見ると、アジア全域から中東、 オーストラリアの全域、モスクワ、ローマ、ロ ンドンまでが沖縄から1万kmの範囲に入ります。 米軍は、ICBM(大陸間弾道ミサイル)とい う1万kmを超える射程を持つ兵器を所有し ているので、これを沖縄に配備すれば、世 界中の主要都市を射程に入れることができ、 大きな影響力を持つことができるのです。	沖縄は中国の海洋進出をおさえるためのベ ストポジション 世界の衝突が起こりやすい3大エリアは「ア ジア」「中東」「ヨーロッパ」。沖縄は、そのな かのアジアエリアに、にらみを利かせやすい ベストな場所に位置しています。とくに、覇権 争いをしている中国が海洋進出することをお さえる効果が大きく、中国から見れば、沖縄 の米軍基地は大変邪魔な存在です。 沖縄基地をはじめとする基地のネットワーク を連携させることで、米国は世界の海と空か らユーラシアの安定を維持しようとしていま す。
85ページ 「ウクライナ内戦とクリミア併合の大まかな経 緯とは」	ウクライナ国内では、長く親ロシア派と、 新 ヨーロッパ派が対立。	ウクライナ国内では、長く親ロシア派と、 親 ヨーロッパ派が対立。
68ページ 「中東との関係1」見出し部分	自国で石油生産ができるようになり、	自国で石油生産ができるよう に なり、
89ページ 右から8行め	「通航をコントロールして影響力を持つこと」	「通航を コントロール して影響力を持つこと」
98ページ 右から1行め	世界第 3 位の広大な国土を有するランドパ ワー国家の中国は、	世界第 4 位の広大な国土を有するランドパ ワー国家の中国は、
101ページ 地図 (アフリカ)	シ ブチ	ジ ブチ
101ページ 「紅海、アデン湾に面する「ジブチ」に基地を 建設」	2017年、初の海外基地を東アフリカの ジブ チに設置。	2017年、初の海外基地を東アフリカの ジブ チに設置。
102ページ 「長らく行ってきた国境固めがようやく終結」 2004年	ロシアとの国境がすべて 画定	ロシアとの国境がすべて 確定
113ページ 「収束から5～10年後」	拡大した中国の勢力に ランド パワー勢力が 戻り、中国は失速	拡大した中国の勢力に シー パワー勢力が戻 り、中国は失速
117ページ 地図	ロシアの国旗の間違い	
154ページ 左から3行め	中国が目指しているのは、習近平の言葉よ ると「中華帝国の偉大なる復興」。	中国が目指しているのは、習近平の言葉 に よると「中華帝国の偉大なる復興」。

訂正箇所	誤	正
5ページ 上段左から4行め	今の段階では北 挑 戦のミサイルを恐れる必要はない？	今の段階では北 朝 鮮のミサイルを恐れる必要はない？
12ページ 「中国やロシアなど、内陸の大国は領土を奪われないために拡大する宿命が」 参照ページ	(→P76)	(→P78、96)
21ページ 地図「世界の主要なチョーク・ポイント」	バブ・エル・マンデ ラ 海峡	バブ・エル・マンデ ブ 海峡
27ページ 「アメリカ軍の代表的な海外拠点」	ジ ブ チ共和国	ジ ブ チ共和国
38ページ 「完璧な理由1 位置」	拠点として超重要！ 世界の主要都市を射程に ICBNという大陸弾道ミサイルを配置すれば、世界中の主要な都市を射程におさめることができる。	拠点として超重要！ 世界ににらみを利かせられる 沖縄は、米国と日本のシーパワーと、ランドパワーの中国の接点にあり、同時にユーラシア大陸の東端からにらみを利かせられる。
40ページ 本文 4行目	アメリカのICBM(大陸間弾道ミサイル)を沖縄に配備すると、世界の多くの主要都市が射程に入り、ミサイルを置くには絶好の位置なのです。ミサイル配備に適した場所として、世界のほぼすべての大都市が射程に入るロンドンに次ぐ世界2位ともいわれています。	沖縄は覇権争いをしている中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション。同時に、ユーラシア大陸の東端に近い場所にありません。つまり、世界ににらみを利かせやすい位置なのです。インド洋のディエゴ・ガルシア米軍基地などと連携することで、さらにその効果は発揮されます。
40ページ 下部にある「1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！」の記述	1万km 内にロンドン、モスクワ、北京など世界の主要都市が！ 下の図は、沖縄を中心に「正距方位図法」で描かれた世界地図。中心と任意の点の「方位」と「距離」を正確に示すという特徴があります。これを見ると、アジア全域から中東、オーストラリアの全域、モスクワ、ローマ、ロンドンまでが沖縄から1万kmの範囲に入ります。米軍は、ICBM(大陸間弾道ミサイル)という1万kmを超える射程を持つ兵器を所有しているので、これを沖縄に配備すれば、世界中の主要都市を射程に入れることができ、大きな影響力を持つことができるのです。	沖縄は中国の海洋進出をおさえるためのベストポジション 世界の衝突が起こりやすい3大エリアは「アジア」「中東」「ヨーロッパ」。沖縄は、そのなかのアジアエリアに、にらみを利かせやすいベストな場所に位置しています。とくに、覇権争いをしている中国が海洋進出をおさえる効果が大きく、中国から見れば、沖縄の米軍基地は大変邪魔な存在です。沖縄基地をはじめとする基地のネットワークを連携させることで、米国は世界の海と空からユーラシアの安定を維持しようとしています。
68ページ 「中東との関係1」見出し部分	自国で石油生産ができるようなり、	自国で石油生産ができるようになり、
80ページ 地図	矢印の位置の間違い	
85ページ 「ウクライナ内戦とクリミア併合の大まかな経緯とは」	ウクライナ国内では、長く親ロシア派と、 新 ヨーロッパ派が対立。	ウクライナ国内では、長く親ロシア派と、 親 ヨーロッパ派が対立。
86ページ 地図	地図の配置の間違い	
89ページ 右から8行め	「通航をコントロールして影響力を持つこと」	「通航をコントロールして影響力を持つこと」
98ページ 右から1行め	世界第 3 位の広大な国土を有するランドパワー国家の中国は、	世界第 4 位の広大な国土を有するランドパワー国家の中国は、
101ページ 地図 (アフリカ)	シ ブチ	ジ ブチ

101ページ 「紅海、アデン湾に面する「ジブチ」に基地を建設」	2017年、初の海外基地を東アフリカのジブチに設置。	2017年、初の海外基地を東アフリカのジブチに設置。
102ページ 「長らく行ってきた国境固めがようやく終結」 2004年	ロシアとの国境がすべて 画定	ロシアとの国境がすべて 確定
103ページ 上段左から6行め	ウイグルを や チベットを併合しましたが、	ウイグルやチベットを併合しましたが、
113ページ 「収束から5～10年後」	拡大した中国の勢力に ランド パワー勢力が戻り、中国は失速	拡大した中国の勢力に シー パワー勢力が戻り、中国は失速
116ページ 下から2行め	英仏 蘭	英仏 露
117ページ 地図	ロシアの国旗の間違い	
134ページ 地図横「イスラム国（IS）とは」	イラク北西部で誕生したスン ナ 派の反体制組織。	イラク北西部で誕生したスン ニ 派の反体制組織。
154ページ 左から3行め	中国が目指しているのは、習近平の言葉によると「中華帝国の偉大なる復興」。	中国が目指しているのは、習近平の言葉 に よると「中華帝国の偉大なる復興」。